

報道関係者 各位

令和4年4月28日
【照会先】厚生労働省
健康局 結核感染症課
感染症情報管理室長
今川 正紀
課長補佐 杉原 淳
(代表番号) 03(5253)1111

小児の原因不明の急性肝炎について

世界保健機関（WHO）の報告によると、4月21日現在、12カ国で少なくとも169例（死亡1名）の小児における原因不明の急性肝炎が継続して報告されています。うち、74例でアデノウイルスが検出されていますが、原因ウイルス等については不明であるとされています。また、小児における急性肝炎が実際に増加しているのかについても、不明であるとしています。WHOでは、この急性肝炎の原因特定を目的として、暫定的な症例定義を定め、各国に症例定義に該当するケースの報告を求めています。

厚生労働省ではこうした事案について、令和4年4月20日に自治体等に対し、注意喚起及び情報提供依頼、4月27日に当該事例の感染症サーベイランス及び積極的疫学調査についての事務連絡を発出しているところです。

暫定症例定義（※）の②「可能性例」に該当する2021年10月1日から2022年4月28日12時までの累積報告症例数を別添の通り公表します。今後も、定期的に症例報告の状況を取りまとめて公表していきます。

厚生労働省としては、引き続き、各国政府やWHO、専門家等とも連携しつつ、諸外国の感染状況を注視しながら、情報収集に努めてまいります。

報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

※ 暫定症例定義は以下のとおりとする。「欧州及び米国における小児の原因不明の急性肝炎の発生について（協力依頼）」（令和4年4月27日付厚生労働省健康局結核感染症課事務連絡）

2021年10月1日以降に診断された原因不明の肝炎を呈する入院例のうち、以下の①、②、③のいずれかを満たすもの：

- ①確定例 現時点ではなし。
- ②可能性例 アスパラギン酸トランスアミナーゼ（AST）又はアラニントランスアミナーゼ（ALT）が500 IU/Lを超える急性肝炎を呈した16歳以下の小児のうちA型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。
- ③疫学的関連例 ②の濃厚接触者である任意の年齢の急性肝炎を呈する者のうち、A型～E型肝炎ウイルスの関与が否定されている者。

(別添 1)

【小児の原因不明の急性肝炎の入院症例の発生状況 (4月28日12時時点) (※1)】

累積件数	肝移植	SARS-CoV-2 PCR 検査陽性	アデノウイルス PCR 検査陽性
3	0	0	0 (※2)

※1 : 2021年10月から遡って症例報告を求めているので、全てが4月の症例でないことに留意が必要である。

※2 : 地方衛生研究所において、2件検査中。

(参考1 : 急性肝炎)

- 急性肝炎は、症状が現れない人や、食欲不振、全身倦怠感、悪心・嘔吐、右季肋部痛、濃色尿、下痢などが見られ、黄疸も認められるようになる。
- 日本肝移植学会の肝移植症例登録報告では急性肝不全として、HBV、薬剤性、自己免疫性肝炎、ウイルス性(非HBV)、原因不明、その他、等に分類されます。2018年から2020年の3年間の小児肝移植の事例数は、41例。うち、ウイルス性(非HBV)2例、原因不明36例、新生児ヘモクロマトーシス1例、その他2例。
- 急性肝炎の原因ウイルスによって異なり、経口感染、血液感染、母子感染、性感染などがある。治療はいずれの急性肝炎でも対処療法のみであるが、劇症肝炎の場合には血漿交換、人工肝補助療法、肝移植などの特殊治療が必要となる場合がある。

出典 : 国立感染症研究所 IDWR 2002年第3号

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/2403-hv.html>

出典 : 日本肝移植学会・肝移植症例登録報告(一部改訂)

<http://jlts.umin.ac.jp/images/annual/JLTSRegistry2020.pdf>

(参考2 : アデノウイルスについて)

- アデノウイルス科マストアデノウイルス属に属するヒトアデノウイルスは、エンベロープを持たない2本鎖DNAウイルスであり、物理化学的に比較的安定である。現在A-Gの7種に分類され、80を超える型が存在している。
- アデノウイルスは、急性上気道炎などの呼吸器疾患、流行性角結膜炎などの眼疾患、感染性胃腸炎などの消化器疾患を起こす。また、出血性膀胱炎、尿道炎などの泌尿器疾患、さらに肝炎なども起こす。アデノウイルス肝炎はアデノウイルス感染症の中では比較的稀な疾患であるが、臓器移植や抗がん剤治療を受ける患者、免疫不全疾患、HIV感染症など免疫能低下が著しい患者で発症し、しばしば重篤化し致命的になる。アデノウイルス肝炎の治療として国内で確立された治療法はない。

出典 : 国立感染症研究所 IASR Vol. 42 p70: 2021年4月号

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/typhi-m/iasr-reference/2538-related-articles/related-articles-494/10291-494r01.html>